

展開例7 文理の選択を考える

1. ねらい

- ①自分の適性が文系・理系のどちらにあるかを、「わくわく」のデータも含めて多面的に理解する。
- ②成績や好き嫌いからみた文系・理系が、本当の自分の気持ちに合っているかを考える。

2. 準備するもの

- ①生徒用「アドバイスシート」
- ②生徒用ハンドブック「わくわくブック」
- ③ワークシート「文理の選択を考える」：全生徒分（p.21をコピーしてお使いください）

3. 展開（50分）

○：指導上の留意点 ◆：評価規準

	時間	学習内容・活動	指導上の留意点および評価
導入	15分	<p>●学問を「文系」「理系」という観点から考える。</p> <p>「わくわくブック」46ページの「学問リサーチの見方」を見てみましょう。タイトルの「文学」のすぐ下に文系度・理系度が載っています。文学だったら文系度が高いですね。55ページの「数学」だったら理系度がとても高いです。このように学問は、文系度・理系度がさまざまです。</p> <p>ワークの1で、希望する学問の文系度・理系度を確認してみましょう。</p>	<p>○学問は文系と理系に分けられることを確認する。</p> <p>○時間があれば、文系と理系の中間の学問がどういうものか探してみる。</p> <p>○学問は文系理系以外に、屋外・屋内、創造的・理論的、集団・個人、対ヒト・対モノのようにいろいろな見方ができる。</p> <p>◆学問の特徴を理解できたか。</p>
展開	20分	<p>●教科ごとに得意・不得意、好き・嫌いをチェックする。</p> <p>●客観的なデータから自分の文系・理系志向性を理解する。</p> <p>ワークの2で、あなたの得意な教科や好きな教科は、文系・理系のどちらに多いか確認してみましょう。</p> <p>次にワークの3で、「アドバイスシート」の「文理判定マップ」を見て、自分のタイプを確認してみましょう。</p>	<p>○得意・不得意は今までの成績と関連づけさせる。高校1年生で高校の成績がまだわからない場合は、中学3年生時の成績を思い出させる。</p> <p>◆自分の成績を客観的にとらえているか。主観としての好き・嫌いを理解しているか。</p> <p>◆教科の得意・不得意や好き・嫌いの程度と「わくわく」の結果から自分の文理志向がみえてきたか。</p>
まとめ	15分	<p>●文理選択を考える。</p> <p>ワークの1～3で考えたことから、あなたは文系・理系のどちらを希望しますか。選んだ理由も書いてみましょう。</p> <p>●文理選択の重要性を理解する。</p> <p>あなたはこれから、文理選択や科目選択をしなければならない時期がきます。一度選択すると、途中で変更することは難しいです。文理や科目の選択は将来につながることをしっかり踏まえて、進路選択を間違えないものにしてください。</p>	<p>○希望学問の文理系度、得意な教科・好きな教科、「文理判定マップ」の結果から、文理選択を総合的に考えさせる。</p> <p>◆さまざまな視点から文理選択を考えることができたか。</p> <p>◆文理選択や科目選択が今後の自分の将来のためにとっても大事な決断であることが理解できたか。</p>

文理の選択を考える

年 組 番 名前

1. 希望する学問の文理を確認

①「わくわくブック」の46ページからの「第4部 学問リサーチ」では、45の学問が紹介されています。48ページの「CONTENTS」を見て、勉強してみたいと思った学問を1つ選んで下の欄に書きましょう。

勉強してみたい学問は.....です。

②①で書いた学問の「第4部 学問リサーチ」での該当ページを開いてください。学問名の下には文系度・理系度が示されています。文系度・理系度の位置を書き写しましょう。該当する欄を○で囲みましょう。

文 系 ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ● ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ 理 系

2. 得意教科や興味のある教科を確認

①下の4つの教科の得意・不得意度は？ 当てはまる欄に○を記入しましょう。

		得意・ どちらか といえば 得意	わから ない	不得意・ どちらか といえば 不得意
文系 教科	国語			
	社会			
理系 教科	数学			
	理科			

②下の4つの教科の好き・嫌い度は？ 当てはまる欄に○を記入しましょう。

		好き・ どちらか といえば 好き	どちら でも ない	嫌い・ どちらか といえば 嫌い
文系 教科	国語			
	社会			
理系 教科	数学			
	理科			

③①の表で「得意・どちらかといえば得意」に○が多かったのは文系教科・理系教科のどちらですか。○で囲んでみましょう。

文 系 理 系 同じくらい

④②の表で「好き・どちらかといえば好き」に○が多かったのは文系教科・理系教科のどちらですか。○で囲んでみましょう。

文 系 理 系 同じくらい

3. 文理判定マップを確認

「アドバイスシート」の「文理判定マップ」を見て、自分のタイプを確認し、下に○で囲んでみましょう。

**文理総合
タイプ**
総合的に文系・理系どちらにも
向いている

**文系優位
タイプ**
総合的に文系に向いている

**理系優位
タイプ**
総合的に理系に向いている

**文理模索
タイプ**
文系・理系の傾向が
はっきりしていない

4. 文理選択を考えよう

上記1～3のワークの結果から、あなたは文系・理系のどちらを希望しますか。それともまだ未定ですか。○で囲んでみましょう。また、選んだ理由を書きましょう。

文 系 理 系 未 定